

第17回 御前山より鋸山

第5支部 東邦化成（株）

常務理事 磯部 進

平成16年4月4日 小雨時々小雪

4月4日午前6時50分、朝から降りそうな天気。過去、雨だったのは丹沢に行った時。それが1回目で今回が2回目になりそうな嫌な予感。いつも雨天決行としているが、やはり気は重い。

7時8分、JR秋葉原。錦糸町駅構内の信号機故障で総武線、中央線が不通。山手線で新宿に廻ろうと歩き出したら三鷹行きが遅れて到着、錦糸町だけでなく御茶ノ水駅の構内の信号も故障。御茶ノ水で中央線に乗り換えず、新宿へ向う。

7時25分、新宿でも大混乱、目当てのホリデー快速はどうなるか不明。新宿駅ホームで乾さんと出会う。急遽折り返しとなった中央線に乗り、立川を目指した。

立川到着、同じホームに次にやって来る電車がホリデー快速奥多摩行きだった。ラッキー！しかも空いている。青梅を過ぎたら更に空いて来た。しかし雨が降り出して来た。この時期、こんなに空いているなんて幸せだと思った。多少天気は悪くても空いている方がいい。

途中、原さんと連絡を取りつつ移動したが、原さんは雨模様の天気にはびびり、夫婦で不参加となった。その原さんの会社の超ベテランの雨宮さんが初参加していただいた。さらに常連の小野寺さんを加え、総勢4名が奥多摩駅に集まった。

今回不参加の原さんが、わざわざ奥多摩駅まで車で来てくれた。原さんの奥さんに車から降りていただき、代りに4人が乗り込み小河内ダムサイトまで乗せていただいた。お陰様で、JRの朝の混乱での遅れはカバーできた。

9時40分、小雨の中、雨具を付けダムサイトを出発した。前回ここに来たのは平成13年5月20日、第6回目のハイキングだった。この日の参加は乾さんと原夫人と私の三人で、乾さんのペースが速い上に、暑くて急な登りできつかったという記憶が蘇った。兎に角先頭を歩き、乾さんの速いペースではなく自分のペースで行きたいと思った。1時間ほど登ると更にガスって来た。そして周囲には雪が積もっていた。お彼岸の頃に降ったであろう雪は5センチから10センチ位積もっていた。雪の急斜面を更に登ると雨から雪に変わり、やっとの思いで惣岳山に11時45分に到着。

そこからは比較的緩い登りで12時5分に御前山の山頂に到着した。御前山の標高は1,405m、まだ踏み跡の無い山頂だ。昨日ついたであろう踏み跡に雪が積もっていた。かたくりの花の群生ならぬかたくり粉のような雪の積もった山頂

だった。

食事をするには寒いので、頂上直下の避難小屋を目指した。12時20分、避難小屋到着、暖房は無いが布団があった。布団の上に座り、昼食。バーナーでお湯を沸かし、紅茶入れる。そう言えばまだ誰とも遭っていない。

20分ほどで引き上げ、大ダワ（鋸山林道の峠）に向う。13時50分、大ダワ着。原さんに到着予想時間を伝え、宴会のことを考えながら歩き始めた。これから長い下りが奥多摩駅まで続くと思ったら、急な登りが待っていた。以前来た時はこんなだったかと思うほどきつい。鋸山はパスしての巻き道がこれかよと思いつつも、ぱんぱんになって来た足を持ち上げた。

10分ほどきつい登りをこなすと、奥多摩へ向う縦走路に出た。結構アップダウンが続く長い急な下りだ。2年前の雪の日に奥多摩駅からこのルートに登って大ダワまで登り、御前山を目指したが、ばてて引き返した記憶が蘇った。

今日は下りコースで良かった。奥多摩町の喧騒が聞こえ出した頃、愛宕神社に到着、滑り易いすごく長い石段を、慎重に下る。やっと降り立ったところに水道があり、泥まみれのズボンと靴を洗う。15時50分、奥多摩駅到着。

16時頃より打上げ開始、30分遅れで原さんご夫妻が寿司桶を持って到着。総勢6名で目立たないようにしてお寿司をいただいた。

この原稿を書いている間に思い出した。原さんには差し入れまでしていただいているのに、わりかんにしてしまった。酔った上とは言え、原さんには申し訳ないことをしてしまった。

呑み過ぎに注意しよう。そして山をなめたらいかんぜよと思いながら、次回以降にこの反省を活かして行きたいと思った。悪天候の中、ベテランだけの参加で本当に良かった。森さんや内田さんが参加していたらハイキング同好会は潰されてしまうと思った。